

美術教育講座 竹内 晋平 教授



社会に開かれた美術教育の創造



キーワード 図画工作・美術科/ 領域「表現」/ 鑑賞の指導と評価/

どのような研究をなぜ行っているか

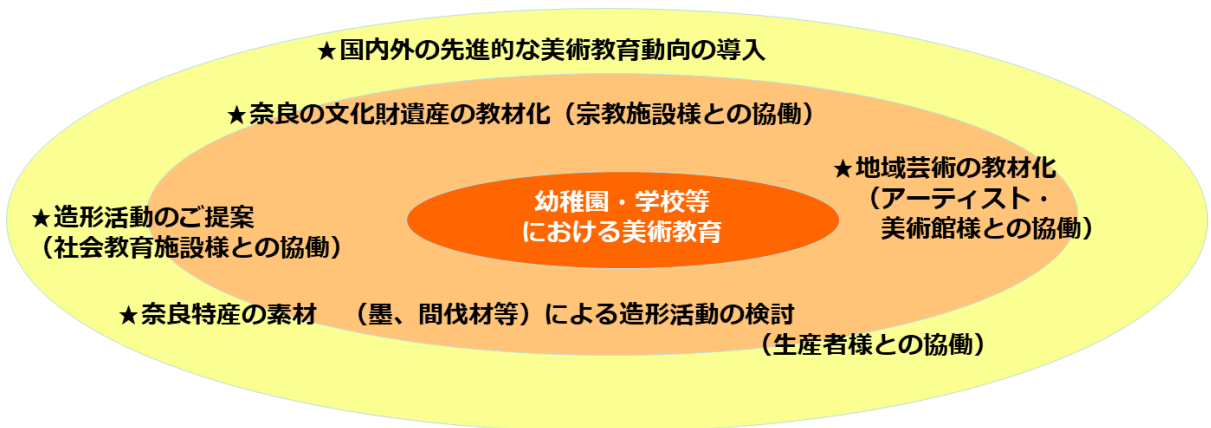
- 美術科教育全般に関する研究活動を行っています。領域「表現」や小学校図画工作科、中学校美術科、高等学校芸術科（美術・工芸）を対象とした実践的研究、そして教師教育に関する研究、美術教育史研究等、「子ども」「学校」「教育」「地域」「諸外国」等をキーワードとして美術と社会とのつながりに着目し、美術が学校教育や市民生活にどのように貢献できるのかを模索しています。
- 現行の学習指導要領（平成29年告示、中学校美術）の作成に携わった際に得た経験と知見を活用し、これからの美術教育を通して育むことが求められる資質・能力を視野に入れた指導と評価のあり方について研究しています。
- 幼小接続を視点とした教材開発や指導法開発を進めています。子どもが見せる表現を幅広く捉えるとともに、その際の行為や発話などの意味を見取るための方法について検討しています。

▶ 竹内晋平研究室Webサイト <https://takeuchi-lab.net>



研究成果をどのように活用し、どのような貢献ができるか

幼稚園・学校等をコアとして地域・社会に開かれた美術教育を創造することを通じた、産学官連携の意義創出をめざしています



これまでの連携研究や社会貢献活動の実績

- 2016年 文部科学省 学習指導要領等の改善に係る検討に必要な専門的作業等協力者（～2018年）
- 2016年 小学校図画工作科教科書 編集委員，日本文教出版（現在に至る）
- 2017年 中学校美術科教科書 編集委員，日本文教出版（現在に至る）
- 2021年 奈良県図画工作・美術教育研究会 記念講演会 講師「Society5.0時代における図画工作・美術科授業のあり方」